



# 四條畷高等学校「答えのない探究活動への取り組み」

「答えのない探究活動に学校全体でどのように取り組んでいくのか」こそが、四條畷高等学校の取り組む探究テーマとなっている

## 【 四條畷高校の探究活動のシステム 】

|             |      |                                                                                                |                                                                                                                                                              |                                                            |           |
|-------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------|
| 校務分掌<br>GL部 | 授業   | <b>1年 探チャレⅠ</b><br>2週に1回HRクラスで実施。探究活動の基本サイクルを「身近な課題」を通して学ぶ。                                    | <b>2年 探チャレⅡ（毎週1回）</b><br><b>SS探究</b> 主に理系探究に深く取り組みたい希望生徒。物化生地数情学際 of 7 領域で活動。<br>(約 60 名)<br><b>課題探究</b> 人文・社会・自然科学の領域に分かれて活動。興味・関心のあるテーマに取り組む。<br>(約 300 名) | <b>3年 探チャレⅢ</b><br>2週に1回HRクラスで実施。自分の興味関心と進路・将来の自分像を繋げて考える。 | 興味ある学問分野へ |
|             | 課外活動 | <b>探究ラボ</b> 授業外でも深く探究活動に取り組みたい生徒たちで活動。主に理系の研究に組み、毎水曜のラボ Day で進捗状況を発表しメンバーと議論を繰り返す。<br>(約 30 名) |                                                                                                                                                              | <b>3年 有志生徒</b><br>外部発表会出場                                  |           |
|             |      |                                                                                                |                                                                                                                                                              |                                                            |           |
|             |      |                                                                                                |                                                                                                                                                              |                                                            |           |



## 【 四條畷高校の探究活動の特徴 】

1

### 全校体制での取り組み

- ✓ 全生徒が探チャレで学ぶ
- ✓ 各学年全教員で指導
- ✓ 共通の授業計画で活動
- ✓ 共通教材を使用した授業
- ✓ 定期的な **\*担当者会議**

教科・指導経験に関わらず、全生徒を全教員で指導。指導に差が出ぬよう、担当者会議で共有した共通教材を使用している。

2

### 興味あるテーマを設定

- ✓ 好きなテーマで活動可能
- ✓ 1年では興味探しをじっくり
- ✓ 興味で繋がりチームを結成
- ✓ 自分の興味を大切に
- ✓ **\*ガイドライン**で安全を確保

「好き」に取り組むことが主体性を育む源。自分の興味・関心あるものを本気で探すと、それを進路に繋げることが意識させる。

3

### 協働性を育む機会に

- ✓ 必ずチームで探究活動
- ✓ 共有・分担を経験
- ✓ 対話を通してチーム力 UP
- ✓ **\*担当者**と **talk** で状況確認
- ✓ デジタルツールの活用

3～6名のチームで活動することで、人と協働する際に必要なスキルを身につけられる。ICTの活用で効率的に情報共有ができる。

## 【 四條畷高校の探究活動での工夫 】

### 校内を歩けば探究にあたる

学校の至る所に探究活動のポスターや成果物を掲示し、探究に触れる機会を提供。**\*探究 MAP** や **\*NAVI ボード** で探究の基礎知識や先輩の研究を自然と目にすることができる。自由に話し合いができる空間も設置。

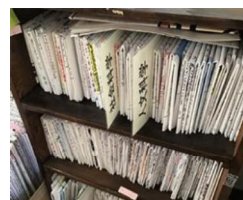


### 遊び心をもって演出

GL部では生徒も教員も楽しく前向きに探究に取り組めるように、遊び心ある面白いアイディアを常に模索し実践。

### 先輩の肩にのる

**\*TA ルーム** で過去の探究活動の資料に触れることができる。過去の蓄積から良いことも悪いことも学べる機会を提供。



### アウトプット機会を多く提供

発表や文章を通して、自分たちの仮説・検証方法・結果・考察を言葉にして発信する機会を多く作っている。探チャレⅡでの毎授業の **\*1分間スピーチ** もその日の活動の成果を言語化する良い機会となっている。

## 【 四條畷高校の探究活動の今後 】

### 現在の課題

- ✓ 探究活動にかけられる時間・力の少なさ
- ✓ 好きを探せない生徒へのアプローチ
- ✓ より深い研究へ導くための指導・助言
- ✓ 探究活動に対する誤解

### 今後めざしていくもの

- ✓ スモールステップの提示
- ✓ 興味・関心を刺激する機会の提供
- ✓ 専門機関との効果的・効率的な連携
- ✓ 探究活動のノウハウを地域に普及

毎週公開授業  
「いらっしやい！」  
本校 HP より

